茅ヶ崎市 自主防災組織等リーダー研修会

総務省消防庁が企画した「地域防災を支える自主防災組織等のリーダー育成プログラム」が厚木の神奈川県総合防災センターで用意され、茅ヶ崎市がエントリー。

香川自治会として1月18日に行われた同研修会に参加しました。

自主防災組織の意義と役割についての講義の後、防災体験学習として地震・風水害の模擬体験をしました。

●地震体験コーナーでは、最大震度7の疑似体験装置と大型スクリーンでCG映像を見ながら、東日本大地震の揺れを体験。揺れのすごさでセフティーバーをしっかりと両手で握っていても、立っていることはおろか、しゃがんでいるのも難しく、思わずおしりを床に着けて座り込んでしまいました。

●風水害体験コーナーでは、秒速30mの暴風を体験しました。またプールでアンダーパス（鉄道や道路の下を通る地下道）の冠水を体験。

水深1m程での水圧を体感し、水没した乗用車の扉を人力で開けることは不可能であることが分かりました。

●実技訓練として、最後に瓦礫の下敷きになっている人をジャッキや廃材を利用して救助する、災害救助訓練を行いました。

2時間の防災体験、講義と災害図上訓練を含めて1日の研修でしたが、災害発生時における、自主防災組織と防災リーダーの役割の大切さを、改めて学べた研修会でした。

（防災副部会長　五十嵐　幸雄）

学童の見守り・地域の安全　防犯部会長　武田久弘
防犯ボランティアの活動に参加しませんか

防犯部会は、主には香川駅前にあるさくらハウスを拠点とした香川防犯ボランティア隊のお手伝いをしています。

隊員は蛍光グリーンの帽子とベストを着用し、香川小学校の下校時の見守りを主眼として徒歩によるパトロールを実施しています。

現在全隊員数は約90名、1隊は4～5人で構成され18隊あります。土日、祝祭日を除く平日にパトロールしますので、ボランティア活動は月に1度の頻度です（まれに月2回のことがあります）。

例年2月中旬にボランティア隊長会議を開催していましたが、令和3年からはコロナ禍の影響で中止し、今年も中止しました。

当会議では茅ヶ崎警察署や茅ヶ崎市の安全担当者から防犯の講話を頂き、隊員の皆勤賞、精勤賞の表彰を実施しています。今年の皆勤賞は36名、精勤賞は19名でした。

防犯ボランティア活動は、けっして地域貢献という自己肯定感だけでない、充実した活動です。

・隊員同士による情報交換（よもやま話）。

・健康増進のためのウォーキング（パトロール）。

・学童たちとの触れ合い（心の平安）等々。

防犯ボランティア隊員は随時募集中です。ご興味を持たれた方は、武田又は各町内会防犯部会員までご連絡をください。宜しくお願い申し上げます。

毎月15日は合同パトロール日

NEWS 最近の自治会活動から

自治会館の利用について

新型コロナの感染拡大沈静化および、公民館や他の施設での対応にあわせ、自治会館利用時の飲食についての禁止措置解除を2月より実施しました。ただし大声での会話を控え、感染防止の自己責任を徹底してください。

安否確認訓練の日程

防災部会は、令和5年度の安否確認訓練の実施を、9月の第一日曜日・9月3日で計画しています。

昨年は感染防止の観点から対面での接触を極力避ける方向で実施し、また準備期間が短かったため、実施の報知および案内が十分ではないとの反省がありました。

そこで今回は会員同士のコミュニケーションが十分とれるような形での実施を検討しています。

皆様のご協力をお願いします。

湘北地区市民集会開催

令和5年2月19日、湘北地区自治会連合会主催で3年ぶりに開催されました。

会場は鶴が台団地・第一集会場で、テーマに湘北地区集会施設を取り上げ、市による情報提供と、質疑応答に次いで、一般質問ではNHKでも取り上げられた香川小学校の取組で、通信簿の廃止についてなどがありました。

第二町内会組長会実施

2月19日午後、自治会館で令和5年度の新組長さんへ、説明資料を配付しました。

例年は集合形式の会議ですが、コロナ禍のため、資料の手渡しとなりました。

伝達員さんが交代

今まで第一・第二町内会を担当されていた廣里さんが3月末で退任されました。5年間ありがとうございました。

堀之内春美さんが後任になりました。宜しくお願いします。

第二町内会主催
恒例ラジオ体操始動

第二町内会が主催する恒例のラジオ体操が、4月3日より再開となります。

当分の間は平日のみの開催で、土日、祝日、雨天時は中止となります。所属町内会にかかわらずどなたでも参加できます。

場所　堂庭公園（柿の木公園）
時間　午前6時30分から

ラジオ体操はひとつひとつの動きに意味があり、わずか3分で全身にほどよい負荷を与えることができる効率のよい有酸素運動です。

茅ヶ崎市 防災リーダー養成研修受講

令和4年度の防災リーダー養成研修は、自宅でのテキスト学習による「個別研修」と研修会場での実技・グループワーク・意見交換等を行う「集合研修」を併用して開催されました。集合研修は本年2月（5日・11日・12日のいずれか一日）9時～17時に茅ヶ崎市庁舎で実施されました。本養成研修を以下の方々が受講されました。

第一町内会　菅沢　孝一さん
第二町内会　平野　由児さん
　　正木　貞雄さん
第三町内会　倉田　渚さん
第四町内会　中澤　康夫さん
　　金田　義浩さん

研修終了後、ヘルメット、ベストが終身貸与されました。

◆防災リーダー

地域の自主防災組織の一員として、平常時には防災訓練の企画への参画、地域住民への防災技術の指導、防災知識の普及・啓発等を行います。

また、災害時には、自身や家族の安全を確保した上で、地域の中でリーダーシップを発揮して、自助・共助と公助（行政などの公的支援）のパイプ役として、防災活動に取り組む役割を担います。